

福祉活動は「妄想」のたまもの

芸能活動と並行して長年、福祉やボランティア活動を行ってきましたが、人からよく聞かれるのが「どうしてそこまで一生懸命やれるのか」「あなたを駆り立てているものは何？」ということ。正直、自分でもよく分からず、気が付いたら行動しています。誰から頼まれたわけでもないのに、「こうすれば、役に立てる。相手が喜んでくれるんじゃないか」と考えてしまう。あえて言うなら、私を突き動かしているのは、そんな「妄想」でしょうか。一般

福祉活動歴56年 具体的な行動こそ大切です

テレビ時代劇『大江戸捜査網』や『遠山の金さん』で主役を務め、明治座や新歌舞伎座の座長公演でも絶大な人気を誇った杉良太郎さん。2016年、芸能活動51年目を迎えた杉さんですが、それ以上に長いのが福祉活動歴で、今年で何と56年。デビュー5年前から始めた刑務所への慰問や、準備期間も含め29年にわたって続けたベトナムへの支援活動。忙しい仕事の合間を縫い、文字通り身銭を切って活動が続けてこられた杉さんに、福祉活動と環境問題についてお話を伺いました。

杉 良太郎

れない。自然の中でその豊かさを感じながら暮らしたくても、もはやそれがありません。下北の家は、私にとって「地球に大変なことが起きている！」と実感できる場所となっています。

環境を破壊したのは人間で、環境のためには人間なんていない方がいい……。環境という待たなしの問題を解決するには、ひとごとではなく「明日は我が身」だと受け止める、つまり一人一人の意識革命が不可欠だと思います。例えば、小中学校のときに、もつと環境のことを深く考えさせるプログラムを実施すること。月1回でもそういう機会があれば、ものすごく効果があるでしょう。大人が手をこまねいているうちに環境はどんどん悪化し、取り返しのつかないことになってしまいます。今必要なのは議論ではなく、具体的な行動です。

もう一つ大切なのが家庭教育。私は現在、法務省特別矯正監を務めています。少年院に入ってくるような子どもたちを立ち直らせるには気が遠くなるほど時間がかかります。そうなる前に、小さいうちから親が愛情を注ぎ、やっていいことと悪いことをしっかり教える。大人が教えるという責任を放棄するから、曲がってしまうのです。これは水や空気の汚染と同じで、汚れてからきれいにするのはなく、汚さないことが大事でしょう。根っこの部分、つまり人づくりがおろそかになっている間は環境は良くならない。私は、そう思います。

人生は短い。若い人には自分にタガをはめず、思いっきり生きてもらいたいですね。見える目を持ちながら、見る目を養っていない。聞こえていながら、聞く耳を持たない。あのとき、もつと目や耳を使えばよかったねとならないよう、もつたない人生だったねと後悔しないように、もう一歩踏み込んでいただけたらと思います。

に「妄想」というとネガティブな印象がありますが、私が高頭の中で描いているのは人が喜ぶ顔であり、より良い社会の姿なのです。

かつて、私の活動を「売名行為だ」と非難されたことがあります。が、「売名でいいじゃないか。売名でもやった方がいい」と答えました。また、「芸能人はお金の余裕があるから」と思う人がいるかもしれませんが、確かにボランティアにはお金がかかります。でも、余裕があつてやっているのなら、海外でチャリティ公演を開くために、億単位の借金を個人で背負ったりするでしょうか。寝る間を惜しんで、あちこちの施設を訪ね歩いたりしますか？ 私がよく言うのは「お金のある人はお金を、お金のない人は時間を、時間のない人は理解を」ということ。ボランティアは誰にでもできます。誰か特別に余裕のある人だけがすることではありません。

地球の環境を良くするには 人間教育が必要

私はもともと自然が好きで、青森県の下北半島に1軒の家を建てました。20年前はアブやブヨなどの虫は少なく、夏でもクーラーがいらなかった。川には魚がたくさんいて、入れ食い状態でした。ところが、現在はサクラの開花は早まるし、虫も多く、クーラーなしでは暑くていら

杉 良太郎(すぎ・りょうたろう)
1944年兵庫県生まれ。歌手・俳優。65年、歌手としてデビュー。67年NHKテレビの時代劇『文五捕物絵図』で脚光を浴びる。以降、『大江戸捜査網』『遠山の金さん』などのテレビ時代劇に主演する他、明治座、新歌舞伎座に連続出演するなど舞台でも活躍。歌手としてはミリオンセラーとなったヒット曲「すきま風」がある。社会貢献活動として、法務省特別矯正監、日本とベトナム両国の特別大使、厚生労働省肝炎総合対策推進国民運動特別参与などを務める。緑綬褒章、紫綬褒章受章。



2007年、杉良太郎さんのプロデュースで始まった「アジア国際子ども映画祭」。
第9回の2015年は北海道北見市で開催された



1989年、ベトナム・ハノイ市のバックラー孤児院を訪問。子どもたちと一緒に



千葉県成田市にある杉良太郎農園で、スイカを収穫する杉さん

*写真提供：株式会社杉友

R y o t a r o S u g i